

様式第10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
香取市	香取市	平成23年度～27年度	平成23年度～27年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指標		現状(割合※1) (平成22年度)	目標(割合※1) (平成28年度)	実績(割合※1) (平成28年度) B	実績B /目標A※2
排出量	事業系 総排出量	7,834t	6,727t (-14.1%)	7,190t (-8.2%)	58.2%
	1事業所当たりの排出量	1.87t	1.61t (-13.9%)	2.01t (7.5%)	△54.0%
	生活系 総排出量	23,055t	18,362t (-20.4%)	21,268t (-7.8%)	38.2%
	1人当たりの排出量	235kg/人	207kg/人 (-11.9%)	269kg/人 (14.5%)	△121.8%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	30,889t	25,089t (-18.8%)	28,458t (-7.9%)	42.0%
再生利用量	直接資源化量				%
	総資源化量	4,753t (14.7%)	4,893t (18.4%)	4,647t (15.8%)	29.7%
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	%
最終処分量	埋立最終処分量	4,409t (14.3%)	3,571t (14.2%)	4,246t (15.1%)	△800%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指標		現 状 (平成22年度)	目 標 (平成28年度)	実 績 (平成28年度) B	実績B /目標A※3
総人口					—
公共下水道	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
未処理人口	汚水衛生処理未処理人口				%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

市民のごみの減量化、再生利用に対する意識は、啓発活動等により全体的に高まりつつはあるが、個人により温度差があり、排出量が減少しなかった。また、事業所への啓発活動がうまくいかず、排出量が減少しなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成31年度まで

さらなるごみの減量化、再生利用には、市民の意識改革が不可欠である。さらには、ごみと資源の分別のさらなる徹底が求められる。組成分析の結果、生活系の可燃ごみには、雑紙、プラスチック製容器包装等の資源物が多く含まれ、水分含有量も多いことから排出量の縮減を見込めると思われる。雑紙の資源化は市民への周知が上手くいっていない。また、プラスチック製容器包装の回収を平成28年度より開始したため、広報活動等によりさらなる普及啓発を行う。

事業系のごみの減量化の対策としては、大規模事業所の多量排出事業者に対し、廃棄物の減量及び再利用に関する計画書を活用し指導する。また小規模事業者への啓発活動をし、ごみの減量化、再生利用に努める。

(都道府県知事の所見)

ごみ処理及び生活排水処理に係る、目標を達成することができなかった指標について、3 目標達成に向けた方策を適切に実行し、早期に目標を達成する必要がある。